

## 2019年度 精神部会活動計画

【目的】精神障がいの方が、住み慣れた地域を拠点とし、ご本人の意向に即して充実した生活を送ることができるよう、医療・保健・福祉等で連携して支援が行える体制を構築していく。更に啓発活動等を行い、安心して暮らし続けていける地域づくりを目指す。

### 【主な活動】

#### 精神部会

##### ●精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた協議

これまで部会で行ってきた取り組みを継続し、退院支援、住まいの確保支援、地域の資源の充実等の必要な課題検討を行い、地域づくりを行っていく。そのために以下の様な取り組みを今年度予定している。

##### ①事例検討

課題となっている「服薬管理」をテーマに、病院や相談支援事業所から事例を出し、事例検討を行う。

##### ②地域への啓発・研修

地域生活支援拠点等事業検討会で行う研修会と共催し、当事者の話が聴けるような研修会を行いたい。

##### ③ピアサポーターの養成についての研修会

まずは、ピアサポーターの役割やどのように活躍されているか等、先進地から学ぶ機会をまずは設ける。

##### ④地域移行の際のマニュアル作成についての学習会

地域移行の支援を行う際、支援機関の担当者が代わっても変わらない支援ができるよう、マニュアルの作成を目指す。高齢分野で先行的に行われているツールがあるため、まずはその学習会から行っていく。

##### ⑤地域資源マップの改訂

H28年度に作成した資源マップを昨年度末の情報で改訂。今年度始めに関係機関へ配布した。今後も必要に応じて改訂し、活用して頂けるようにしていく。

#### 地域関係者との面談

●県保健師、市町村保健師、相談員で、精神科病棟に入院されている方との面談を継続して行う。入院中の方と地域の関係者がお互いの顔を知り、ご本人の意向に沿った応援をできるよう今年度も継続する。また面談から、地域課題の把握につなげていく。

#### 仲間としゃべろう会虹

●当事者の方を中心に、気軽に集まっておしゃべりができる場として開催。月1回、中野会場・飯山会場を隔月開催とし、今年度も継続していく。